

九州ネット

3月14日
第8号

九州体育・保健体育ネットワーク研究会

鹿屋体育大学開催 <ファイナルラウンド>

H24.3.10 (Sat)

灰が舞う一日でしたが、鹿屋体育大学に83名、東京サテライトキャンパスに7名の先生方の参加をいただき、ファイナルラウンドを開催することができました。受付、司会・進行、発表と多くのご協力を頂き感謝です。

1年間の締めくくりにあわせて、各県指導主事の先生、大学、学校現場、学生の集いの機会となったと思います。また、東京サテライトとの二元中継等を通して「九州から全国へ」のテーマに向けた第一歩が踏み出せたと思います。



第1部「体育・保健体育授業づくりシンポジウム～体育科教育のこれから」

テーマ；学習指導要領改訂は何を求めているのか・・・



座長の佐藤から、学習指導要領の歴史的変遷や生きる力のコンセプト、体育・保健の体系化の話題、周知システム研究に関わる課題や論点について提示した後、友添先生から国内及び諸外国の動向から見た体育のアカウンタビリティとして、フィットネス、人間形成、認知的学習の充実などがもとめられるのではないかとのご意見、今関先生からは、教育委員会、学校現場、大学のそれぞれに対して保健学習の充実に向けた期待と充実させることの意義、また実際の保健授業の教材例を通して教材の裏側にある学習内容を押さえることの必要性についてご意見を頂きました。日野先生からは、スポーツ基本計画で学校体育が果たす役割

や大学の教科教育の充実に向けた取り組みについて情報提供を頂きました。東京サテライトとの二元中継では、大越先生、杉山先生からご質問やご意見を頂き、テレビのライブ中継のような雰囲気の中で中身の濃いシンポジウムとなったと思います。

第2部 「九州から全国へ～学校体育の充実に向けて～」(学校・教育委員会・大学の連携)

「九州におけるスポーツ行政施策の動向等」

長崎県宮田先生から、地域スポーツ人材を活用した長崎の事業概要と成果報告を、福岡県体育研究所藤田先生からは全国学校体育研究大会から引き続き研究を深めている「体育的学力」について情報提供を頂きました。これらの事業実践や研究の成果は、広く全国の教育委員会への参考となる貴重な情報でした。ポスター発表でも多くの方々からの質問が投げかけられていました。



「授業づくり最前線」&ポスターセッション



授業づくり最前線では、熊本県北本先生よりソフトボール、大分県河野先生より小学校専科、宮崎県西田先生から小中高連携、佐賀県福井先生より指定校事業報告、松下先生、下村先生からはダンス授業実践、福田先生からは体育理論実、田山先生からは高等学校ハードル走の発表の後、ポスターセッションでは、新潟市長谷川先生、宮崎日南振徳高校川崎先生、早稲田大学(横浜平沼高校)野間先生、鹿屋体育大学からは、水崎さん、黒木さん、中山さん、土居さん、金高先生のポスター発表を加えた18名の先生方の発表に様々な質問が活発に出ていました。



九州各県の参加に加え、東京、静岡、神奈川、新潟、山口、滋賀、愛知など他府県からも遠路はるばるご参加頂き、ネットワークの広がりが感じられる一日でした。

九州各県の参加に加え、東京、静岡、神奈川、新潟、山口、滋賀、愛知など他府県からも遠路はるばるご参加頂き、ネットワークの広がりが感じられる一日でした。